

Tokyo Kasei Press

学校法人渡辺学園 広報誌 なでしこ

VOL.
97
2023.7



02 スタートアップセミナー自主自律

14 キャリアサポーターインタビュー
〜学生のみなさんへのメッセージ〜

- 04 図書館学生ボランティア団体
- 08 板橋・狭山キャンパスライフ紹介
- 10 学生企画「十条銀座の甘味のお店」、
「板橋・狭山おすすめキッチンカー」



令和5年度 スタートアップセミナー自主自律

SA (スチューデント・アシスタント) プレゼンテーション内容紹介

令和5年5月18日(木)に、共通教育科目「スタートアップセミナー自主自律」の第5回目の授業が行われ、SA^(※1)がこれまでの経験やそれらを通じて感じたこと、新入生へのメッセージなどを発表しました。

(※1) 授業の中で上級生から下級生の学び合いをサポートする制度で、各クラスに1名配置されています。

1 家政学部児童学科2年 R・Sさん

複合的な視点を持つ

◎ 東京家政大学を選んだ理由

もともと妹と弟の世話が好きでした。中学の時、職場体験で保育の仕事に近寄り、保育について興味を持ちました。そして高校の時、ニュースで保育士不足の現状を知り、保育を社会課題として捉える視野が広がり、子育てをより専門的に学べる児童学科育児支援専攻に進むことを決めました。

◎ 大学の魅力

東京家政大学は就職率が高く、キャリアサポートの手厚さを感じました。キャンパス内には幼稚園やナースリールームも併設しており、子どもたちの様子を学内で身近に観察し学ぶことができます。他大学よりも実習が多く、また1年次から学内実習が経験できることも特徴です。

◎ 今後のビジョン

入学後はアパレル関連でアルバイトをしており、保育士とは異なる分野にも視野が広がりました。保育士の夢も持ちながら、将来的には大学で学んだことを活かして、アパレル業界で子ども服の開発などに携わっていきたくと考えています。

◎ 1年生からの質問

Q. 実習で大変だったことは何ですか？

A. 実習記録をつけることです。一日の実習を終えるだけでも疲れてしましますが、後回しにすると記憶が薄れてしまうので、記憶が新鮮なうちに取り組むと良いと思います。

2 人文学部心理カウンセリング学科3年 K・Tさん

将来後悔しないため、今を充実させる

◎ 東京家政大学を選んだ理由

人の成長を支える仕事がしたい、カウンセラーになりたいという思いから、資格取得にも強い東京家政大学を選びました。

◎ 今後のビジョン

カウンセラーになる、公認心理師の資格を取得する、そして人の成長を支えることで社会貢献をするという夢を叶えるため、東京家政大学大学院に進みたいと考えています。

4 人文学部教育福祉学科2年 M・Nさん

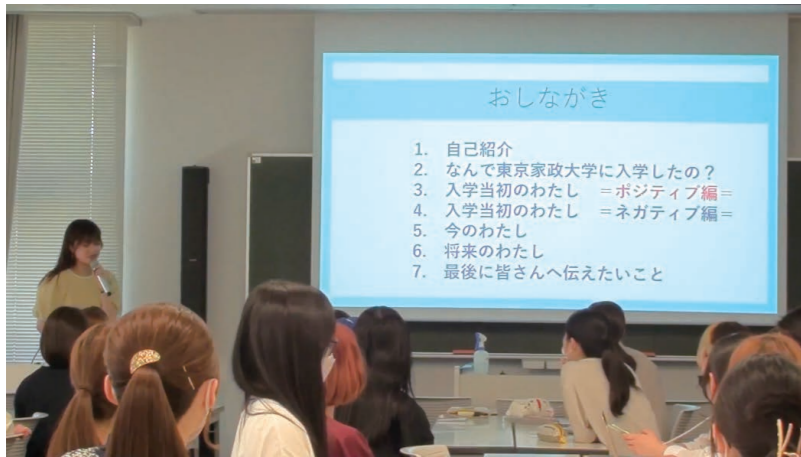
なんでも全力でやってみる

◎ 東京家政大学を選んだ理由

専門性の高い大学で、社会福祉士の資格を取得したかったためです。オープンキャンパスに参加し、先輩や先生の優しさや真剣さ、熱意を感じました。また真面目で落ち着いた校風が自分に合っていると感じました。

◎ 高校と大学の違い

大学では、答えのない問題を扱い自分で考えることが求められます。私自身、授業の内容を本当に理解できているのか、テスト勉強はどうすればいいのかと最初は不安でした。また授業や課題、サークルや趣味などやることも多く、スケジュールやタスク管理が大変でしたが、まずは目の前にあることから一つひとつ時間をかけてもい



プレゼンテーションの様子

◎ 今後のビジョン

社会福祉士の国家資格試験に現役合格、そして児童福祉に携わる仕事に就くため、人としての経験をたくさん積むことを大切に、専門分野だけを深めるのではなく、幅広い視野で多角的に物事を捉えられるように日々の大学生生活を送っています。

◎ 1年生へのメッセージ

「将来になりたい自分」のために、「今」大学生活(授業、アルバイト、ボランティア、好きなこと)を楽しみながら充実させることが大切です。将来を後悔させないために、今を充実させましょう。

◎ 1年生からの質問

Q. デメリットや不安を考えてすぐ物事をやめてしまいます。どうしたらいいですか？

A. 周りには同じ志を持った切磋琢磨し合える仲間がいます。仲間と一緒に責任感を持って取り組んでみてはいかがでしょうか。

3 家政学部環境教育学科2年 H・Kさん

自分を変える意識が大切

◎ 東京家政大学を選んだ理由

オープンキャンパスに参加し、大学の雰囲気が良いなと思いました。環境教育学科は就職率が高く、就職先も豊富で、また今後あらゆる分野や組織でも取り組みが必然となるSDGsに関連した授業も展開している点に魅力を感じました。

◎ 大学での勉強法

おすすめは、①先生の話を見聞目に聞く②分からなかった内容を理解する③勉強会を開き友だちと教え合うことです。また分からないことは積極的に先生に質問しましょう。もし緊張してしまつようであれば、友だちと一緒にいくと気持ちが楽になって落ち着いて話せるかもしれません。

◎ 1年生へのメッセージ

・興味湧いたらまず一歩踏み出す＝挑戦すること
・何でもいいからとりあえず続ける＝継続することが大切です。自分を変える意識を持って実践しましょう。

◎ 1年生からの質問

Q. 大学生活でやって良かったことはありますか？

A. 学生スタッフです。SAのほかオープンキャンパスのスタッフにも携わっています。友だちが増えるだけではなく、大勢の人前で話す経験ができて、自分の成長にも繋がります。緑苑祭のスタッフもあるので、ぜひみなさんも検討してみてください。

SAの発表を聞いた1年生の感想(一部抜粋)

自分の学科での学びだけが将来に繋がるのではなく、別の視点から物事を見ることで視野が広がり、本当に自分がしたいことを見つけられると知り、もっと柔軟的に物事を捉える必要があると思いました。

目指す仕事は一つに絞りましたが、それに関連する知識をこの4年間で深めていかなければと少し焦っていたのですが、焦らずに他の分野もみてから決めてみようと思えるようになりました。自分に合う職に就き、広い視野を持って考えられる人間になるために、他の分野にも目を向け、この4年間で様々なことに挑戦していきたいと思えます。

これからの大学生活では、まずは一歩挑戦してみようと勇気が湧いてきました。

私は大学に入学して、新しい環境で勉強することや、変化した生活習慣で不安なことがたくさんありましたが、SAのアドバイスはとても参考になりました。

とても積極的に行動され、自分の夢に向かって全力で努力し、やりきっている姿がかっこよかったです。私も人間性などを高めるために少しでも気になったことに積極的に参加していきたいと思えます。

視野を広げ、自主自律に繋げる

今回のSA発表では、先輩がどのような思いで、どんな将来ビジョンを描き、東京家政大学で学んでいるのか、受講生である1年生はそのリアルな声を聞くことができました。

特に印象的だったのは、「視野を広げる」というメッセージ。東京家政大学は専門性が高く、資格取得に向けたカリキュラムが豊富です。しかしそれだけに留まらず、女性として「自主自律」して社会で活躍するためには、大学生活を通して様々なことに挑戦し、幅広い視野を持つこと、物事を多角的に捉えることが大切であると先輩たちは伝えていました。

今後の将来ビジョンについて語るSAの姿は、1年生にとってとても大きく見えたはずです。

スタートアップセミナー自主自律とは

板橋キャンパスの家政学部・栄養学部・児童学部・人文学部に入学した1年生全員を対象^(※2)に共通教育科目のコア科目として開講しています。学部・学科の枠を超えて、同じ大学で学ぶ仲間たちとともに東京家政大学の建学の精神「自主自律」の生き方、生活信条「愛情・勤勉・聡明」に基づいた生活に踏み出し、学びの礎を築くことを目的としています。授業では、異なる学科の学生5名程度でチームを作り、東京家政大学の原点とその歴史を確認するとともに、社会で起きている今日的課題を取り上げ、自分たちが取り組める計画づくりと発表に協同して取り組みます。グループでの活動を重視する協同学習(アクティブラーニング)の授業です。

(※2) 狭山キャンパスの健康科学部および子ども支援学部では、基礎教養科目のコア科目として同名科目を開講しています。(板橋キャンパスの授業とは内容が少し異なります。)

緑苑祭

昨年は Library Mates は古本市を行いました。事前に学内に回収ボックスを置き、学生、教職員の方など古本回収にご協力いただきました。売上金(19,050円)はユニセフに募金しました。また、Library Mates 紹介動画も作成、上映しました。Sayama Book Friends は、狭山キャンパスの教職員と学生と協働でおすすめ本の展示、小冊子を作成し、来館者に配付しました。また、「バニー・ホンガスキーを探せ」というイベントを開催、狭山図書館の中に隠れている図書館キャラクターを来館者に探してもらい、見つけた方に図書館オリジナルクリアファイルをプレゼントしました。



おすすめ本冊子表紙



Library Mates 古本市



Sayama Book Friends 作成おすすめ本冊子

図書館総合展 online_plus (2022年11月開催)

専用のウェブサイトで Library Mates の紹介を行いました。動画もアップし、2022年11月29日に開催された第7回全国学生協働サミットフォーラム&ワークショップにて紹介され、学外の方にもアピールできる良い機会となりました。



こちらからご覧いただけます

図書館公式キャラクター

バニー・ホンガスキー

(2013年 Library Mates 発足当時メンバー考案)
第20回図書館総合展「図書館キャラクターグランプリ2018」出展者賞受賞



Twitter

毎週月・水・金投稿、Library Mates おすすめの本や活動など発信

アカウント @kaseimates



代表して Library Mates リーダー (児童学科3年) から一言

昨年度の後期から Library Mates に参加しました。テーマ展示では私たちが選書した図書を手取る学生の姿があり、とても誇りしかったです。今年度はリーダーとして、メンバー全員が活躍して図書館が盛り上がる活動をしていきます。様々な学年・学科が集まる団体だからこそ、各々が持つ強みが発揮できるように、リーダーを努めたいと思います。



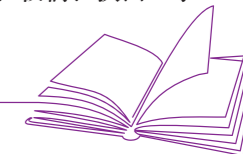
図書館学生アルバイト

今年5月から初めての試みとして、学生4名がアルバイトとして板橋図書館で働いています。Library Mates より選抜され、主に返却本の配架や図書整備を担当しています。授業の空き時間を利用して仕事ができる上に、大学の図書館の仕事に携わり、喜びとプライドを持って生き生きと働いています。初心者マークのついた名札が目印で、学生も困ったときに気軽に質問している様子が見られます。今後は、図書館利用のピアサポーターとして、ますます活躍の場を広げていくことができると期待しています。



図書館学生ボランティア団体 Library Mates (板橋図書館) Sayama Book Friends (狭山図書館)

板橋図書館では「Library Mates」21名、狭山図書館では「Sayama Book Friends」8名が、図書館学生ボランティア団体として活躍しています。学生目線の様々な取り組みと、学年、学科を超えての交流、また、板橋、狭山の学生協働企画等は、大学図書館の親しみやすさと学生自身の成長につながっています。



図書館ツアー

Library Mates は、4月初旬に新入生を(入学式の日も保護者も)板橋図書館の2階から地下2階まで案内しました。自分のお気に入りの場所を案内したり、新入生からは、サークル、アルバイト、1人暮らし等、大学生活の不安なことについて相談を受ける場面もありました。



テーマ展示

板橋図書館2階に上がった右手には Library Mates が考えたテーマ展示があります。テーマに沿った図書選びから飾り付け、書評ポップ作成まで担当しています。ぜひ Library Mates が選ぶテーマ別おすすめの本を読んでみてください！7月はお祭り、海、ホラーなど、夏に関するテーマの展示です。



テーマ展示

月例会



第1回 Library Mates 月例会

参加できる日に活動するスタイル。週に1度集まっています。月に一度全体で月例会を行っています。(Library Mates)

飾り付け

七夕、ハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた飾りを作り、図書館を華やかにしています。特に七夕の笹は好評でいつもたくさんの短冊がかけられています。



Sayama Book Friends 七夕飾り付け

読み聞かせ

東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園にて行いました。読み聞かせが初めてのメンバーがいる中、どうしたら楽しんでもらえるか工夫して取り組みました。その結果、園児たちと仲良くなり、貴重な経験となりました。



グッズ作成

昨年は Library Mates、Sayama Book Friends 共同で、環境にやさしい素材を使った、図書を保護するためのビニール袋を作成しました。



ビニール袋デザイン 協働 環境にやさしいビニール袋

選書ツアー

昨年、Library Mates は紀伊國屋新宿本店、丸善丸の内本店で選書ツアーを開催しました。直接書店に行き、図書館の蔵書に加えたい図書を真剣に選書し、その書評ポップを作成しました。Sayama Book Friends はオンライン選書会を実施、書店のサイトで選書した図書に書評ポップをつけて緑苑祭で展示しました。今年は Library Mates、Sayama Book Friends 合同で選書ツアーを開催予定です。



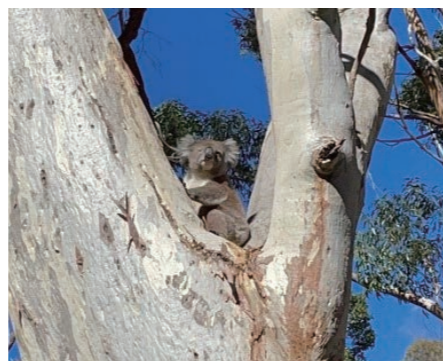
日本ではできない さまざまな体験 オーストラリア/アデレード大学 語学研修

現在、オーストラリアに留学している英語コミュニケーション学科3年のA.S.です。私はオーストラリアの南側にあるアデレード大学の語学学校に通っています。5ヶ月間のプログラムで、5週間で1タームの授業を4回こちらで受ける予定です。4月下旬の時点で2回分が終了しました。正直、現地での生活は、私が留学前に思い描いていた楽しくて、毎日が輝かしく充実しているという日々ではありませんでした。英語が思ったように口から出ない、通じない。また先生やホストファミリーが話す英語が聞き取れない、理解できない、オーストラリア英語ならではのアクセントやスラングがある、といった日本では体験できない英語の難しさや不自由に直面しています。しかし、中でもネイティブの方々が使っている英語を少しずつでも吸収し、使っていくことで、少しずつ自信につながり、それ

に伴い達成感も味わうことができます。

またオーストラリアで生活しているからこそその楽しさもあります。日本では食べられないものが食べられる、日本では見られない景色が見られる、オーストラリアならではの自由な雰囲気に触れるなどが挙げられます。オーストラリアで生活をする中でよかったと思うことは、様々な国から来た人が多く生活している点です。そのおかげで様々な英語のアクセントを聞くことができます。また海外のレストランがたくさんあります。もちろん、日本食のレストランも数多くあります。日本食は現地でも人気なようで寿司屋さんに至る所があります。おかげで日本食ロスにもあまりならず過ごせています(笑) 言葉が異なる社会で過ごすことはもちろん大変ですが、日本のことを客観的に見ることができたり、今まで見られなかった新しい自分に会ったりする

ことができます。少しでも留学に興味を持ち、行ってみたいなと思って頂いた方がいてくださると嬉しいです。



大学近くにあるモリアルタ保護公園の野生のコアラ

多様な価値観に触れ、自分と向き合う ニュージーランド/ワイカト大学 短期語学研修

昨年度のワイカト大学短期語学研修に参加した造形表現学科3年のR.T.です。33日間の日程でホームステイをしながら現地の先生から英語による授業を受けました。授業は20人程度のクラス編成で、ペアワークを中心に英語の技能を高めます。特に印象に残っている内容はペアで会話を作り暗記して発表するものです。ビジネスシーンや友人との会話などシチュエーションが設定され、その上で言い回しや表現方法を学びます。学んだ内容をすぐに応用して会話を作るため英語の知識だけでなく状況に応じて活用する力を得ることが出来ました。

め、先住民の文化を身近に感じることができます。また2月から3月にかけては新入生歓迎会やボランティア、部活の勧誘がありお祭りのような賑わいがありました。ラグビー体験や陸上でのカヌートレーニングなど多種多様なアクティビティに参加でき、お昼休みは特に楽しかったです。家政大のメンバーで参加したワイトモ洞窟ツアーは鍾乳洞の神秘的な空間とグローワームによる非日常の景色を楽しむことができました。洞内の景色は目に焼き付いて離れないほど美しく、特にお勧めの場所です。

私のホストファミリーは私の他にもう一人アイルランド人の留学生を受け入れていたため、日本とニュージーランド、アイルランドの郷土料理を互いに振る舞ったり各国の発音の違いなどを楽しんだりして交流を深めました。お互いの文化を学び合うことが新鮮で忘れたくない思い出がたくさんあり、お別れの日は寂しくて仕方なかったです。

研修を通して英語でコミュニティを築いたり交流

したりすることで、語学力だけでなく貴重な経験を積むことができました。多様な価値観に触れたため自分と向き合うきっかけにもなり、大きく成長したように感じます。今後も英語の学習を続け、より多くの人と交流ができるように励みたいです。



お別れの日にホストファミリーと

グローバル教育センター イベント情報

- English Lounge
English Loungeでは、通常のレッスンとは別にシーズンイベントも実施しています。4月には、イースターについて知り、ゲームで盛り上がりました！次回は10月に「ハロウィンパーティー」を予定しています。
- インターナショナルカフェ
留学生と在学生がテーマに沿って母国の文化を紹介し、異文化交流を行います。去年は観光・ファッションをテーマに学生同士で盛り上がりました。
- 夏期出発短期海外・国内研修は8研修が催行となり、70名近くの学生が参加します！
- 国際交流バス旅行
夏期休暇の最後に1泊2日で留学生と共に観光や体験学習を行います。今年度は伊豆方面へ出発予定です！
- 国際料理教室
10月に本学留学生が母国の料理を紹介し、一緒に調理と試食を行います。インドネシア、香港、台湾の料理を作ってみませんか？
- その他、楽しいイベントや異文化理解を深めるセミナーを随時実施予定です！



TOKYOKASEI_GLOBAL

★詳細は公式Instagramからご確認ください。

夏期休暇期間中の 英語学習のススメ

夏期休業期間中もグローバル教育センターは開室しています。語学学習向け図書やiPadを活用して語学力をブラッシュアップさせましょう。みなさんの来室をお待ちしています。11月には1～3年生対象の英語力測定テストを実施します。目指せスコアアップ!!!

コロナが明けて グローバル教育センター 海外留学再開！ 留学体験レポート



板橋キャンパス 16号館2階
開室時間：平日 9時から17時
土曜日 9時から12時
問合せ：03-3961-1861

アイルランドと人々の魅力～自分は自分のままで良い～ アイルランド/ダブリンシティ大学 語学研修

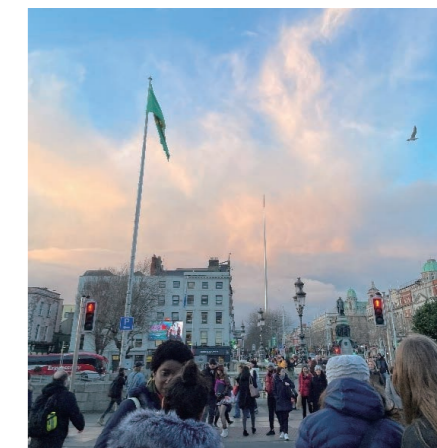
2月からアイルランドのダブリンシティ大学で半年間の語学研修をしている英語コミュニケーション学科3年のK.Y.です。アイルランドでの生活は毎日が驚きと新たな発見で溢れています。自分が想像していたアイルランドと、自分の目と耳、そして現地の人とのコミュニケーションを通して体験するアイルランドは全く別物である気がしました。そこで私がアイルランドで外国人として生活するとはどのようなことなのか、自分が発見したアイルランドや人々の魅力についてご紹介します。

私はこの国で様々な国籍を持つ方々と出会う機会に恵まれており、日本では感じる事の出来ないアイルランドの文化や習慣を日々発見しています。気候は非常に天気が不安定で雨と晴れが混ざり合ったような日々が日常です。その気候もあり、アイルランドにいる方々は本当にポジティブ思考で「That's alright, we'll survive!」という言葉をよく口にします。どんな困難があろうとも全てが上手くいくという考えを彼らは常に持って生活しています。そしてアイルランドの人々はとてもspontaneous、決断をすぐにする人々が多いのが特徴です。アイルランドの天気と長年過ごしてきた彼らは私が想像していた以上に明るく何事も歓迎し助け合う力を持って生きています。そのような生き方には私は日々感動し、自分が自分のままで良いのだと実感しています。

また私が生活しているダブリンという地域は、様々な文化が共存し合った多国籍な地域です。日本ではなかなか聞くことや目にする事の出来ない言語や音楽、人々の習慣を日常の一部として体感することが出来ます。特に大学ではアイルランド、フランス、ベルギー、ブラジルやフィリピンといった本場に多くの国からの学生が集まっており、学校生活とプライベートの両方で異文化交流が可能な国であると考えます。その影響もありアイルランドにいる人々は新しいものや自分の文化とは異なったものが彼らの地域に入ってきた際に温かな笑顔と心で歓迎をし、共に暮らすことを選びます。そのような生活スタイルが非常に私にとって魅力的であり、温かさで溢れた希望のある国であると思う理由の1つです。

アイルランドで過ごし始めた私は日本にいた時よりも遥かに成長していると日々実感しています。その理由は、自分の意思を相手に伝える際にプレッシャーを感じなくなった点と自分の個性と価値観を尊重して良いという考えを持つようになった点です。以前は自分に対して時々ネガティブな感情を持ってしまい、コントロールに時間を要してしまっていました。ですがアイルランドで生きていく人々に出会ってから、彼らが自分のことを愛し今の人生を心の底から楽しむ姿勢を見て、「自分は自

分のままで良い」と気づかされました。自分を受け入れることが出来るようになってから、私は新しい人々と出会うことの楽しさや貴重さ、自分の人生を思いっきり満喫することの重要性を日々噛み締めています。私が想像していた以上に魅力で溢れたアイルランドという緑豊かな暖かな国に出会えた機会とその生活を支えてくださる多くの方に非常に感謝しています。



オコンネル通りから見たスパイア（尖塔）

英語学習のサポートが充実

オーストラリア/アデレード大学 語学・専門研修

栄養学科3年生のM.N.です。現在、オーストラリアのアデレード大学に留学しています。アデレード大学では、附属の語学学校で20週間のアカデミック英語コースを修了したあと、自分が学びたいクラスを選択し1学期間勉強します。私は専攻に関連するフードサイエンスや、オーストラリア特有である先住民民族学を勉強しようと考えています。アデレードは国内でも比較的小さい街で中心街は歩いてまわれます。郊外には世界的に有名なパロッサワインの生産地であるパロッサ・バレーやカンガルー、アルパカ、コアラなどと触れ合える自然動物公園があり、観光にも適していますが、シドニー、メルボルンと比べるとゆったりとしていて、とても住みや

すい場所です。そして非常に多文化であることが特徴です。街の中を歩いていると本当にたくさんの違う言語が聞こえてきます。電車やバスの中で電話する光景をよく見かけるのですが、英語で会話している所を減多に見かけず、それほど様々なバックグラウンドを持った人々がアデレードに住んでいるのだと感じます。実際、私のホストファミリーもバックグラウンドはギリシャにあり、移民としてオーストラリアにやって来ました。英語を第二言語とする人が多く、英語学習に対するサポートが充実しているので、私にとって英語を学習するにおいて、とても良い環境だと感じています。もし英語を勉強したい！留学したい！と考え

ているならば、アデレードはピッタリな街です。ぜひアデレードに来てください！



子どもの日のイベントにボランティアで参加

狭山

学生生活ガイダンス 先輩アドバイザー が発表!

看護学科
リハビリテーション学科
子ども支援学科

4月4日、新入生オリエンテーション「学生生活ガイダンス」を実施し、充実した学生生活を送るために大切なことを伝えていきます。昨年より、各学科、先輩からのアドバイスとして時間を設け、授業や実習についての説明、サークル・ボランティア活動・狭山緑苑祭などの課外活動やアルバイトなど学生目線で発表しました。発表後はスマホで質疑、その場で回答。身近な先輩の話を熱心に聞いていました。多くのヒントを得た新入生には学生生活を満喫してほしいと願っています。



子ども支援学科の発表

板橋

サークル活動紹介

1970年から続く歴史ある部活動! シュナイツスキークラブ

こんにちは!!!
シュナイツスキークラブです!
シュナイツスキークラブは1970年から続く歴史ある部活動です。その中でも大きな出来事として、全国学生岩岳スキー大会で総合優勝した実績があります。

私たちは、週2回、
火曜日 19:00-20:00に大学内での屋外練習、
木曜日 17:00-19:00に体育館練習を行っています!

日々の練習を部員全員で取り組み、技術面の向上はもちろんのこと、「礼儀と和」という先輩から受け継いできたモットーを大切にしています。

練習内容は、夏合宿や冬合宿に向けての体づくりで筋トレや体幹トレーニング、バス

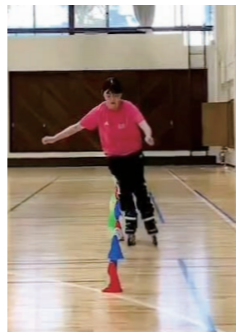
ケットボールやリレーなどのチーム対抗戦、インラインスケートやストックを使った実践に近い練習などを行っています!

また、5月25日には朝のサークル勧誘活動を通し、新入部員募集を行いました。

私たちの活動を知っていただけたと思います。顧問の先生、コーチ、OGの先輩方など沢山のひとと関わり、部活動を通して挨拶などの社会性も身につけられるのがシュナイツスキークラブの魅力です。



朝のサークル勧誘活動



インラインスケートを使った練習

『みどりのお話し』を開催! 児童音楽研究会

児童音楽研究会たんぼぼは「子どもたちに音楽を届ける」ことをスローガンとして、保育園・図書館や児童館などでペープサート・スケッチブックシアター・手遊びなどをを用いた童謡発表を行っています。

5月14日に板橋区立赤塚植物園の「グリーンフェスタ2023」のイベントで『みどりのお話し』を開催しました。

植物や野菜、動物を題材にした作品を発表し、たくさんの方に見ていただきました。

ダンスでは子どもたちが立ち上がりて全身を使って踊り、野菜クイズのパネルシアターでは出てきた野菜をみて大きな声で答えてくれる姿がありました!

最後に『みどりのお話し』にぴったりな私たちのテーマソング「たんぼぼ」を披露しました。

子どもも大人も、メンバーも自然に囲まれ多くの方と一緒に楽しむことができたイベントでした! 今回のグリーンフェスタでは、外のステージでの発表ということで天候を考慮した演目や、広い会場内の子ども達に届くような工夫を考えました。マイクを用意して頂いたり、子どもたちも一緒に参加したり体を動かした

りする事が出来る演目を増やし、実際の反応を知ることで、「みんなで楽しめる」ということを学ぶことが出来ました。

これからも沢山のイベントがあります。1番大きい規模になる緑苑祭での発表では特に今回の経験や学びを活かしてより多くの子どもたちに音楽を届けていきたいと思っています。



手遊び「ちいさなにわ」



スケッチブックシアター「たんぼぼ」

板橋・狭山 キャンパスライフ紹介



板橋 狭山

日本学生支援機構(JASSO)の「物価高に対する経済対策支援事業」支援金の活用

板橋 図書カードの支給

5月中旬、教材等の購入に困窮している大学生及び短大生112名に対し、図書カード1万円を支給する経済対策支援を行いました。学生のアンケート回答からは、昨今の物価高でアルバイトを増やさなければならない状況や、家庭からの援助額が減額されるなど、現在の大学生がおかれる厳しい状況も見られました。また、今回の支援を教科書や参考書の購入に充てることができ、大学生活を送るための助けになったなど前向きな意見を多くもらえました。



学生支援課で図書カード受け取り

狭山 食の支援

4月下旬より支援金と本学後援会の助成金を活用し、学生に対して経済的負担軽減や健康面を考慮し、学生食堂で使用可能な2,500円分の食券を600名に配付しました。支援活動が3回目となる今年は、100円単位で使用できる食券に対応。学生たちはおかず等の組合せを楽しみながら食事をしています。



学務課で食券受け取り



学食で食券利用

狭山

学科間交流会 ドッジボール

6月8日、学科間交流会で「ドッジボール大会」を開催しました。異なる学科や学年を混合して5チーム作り、59名の学生・教職員が参加しました。今回は総当たり戦で実施し、参加した学生も応援の教職員も白熱したゲームで大盛り上がりしました。また学科間交流会実行委員は企画から実施まで行い、その達成感の良い経験になったことでしょう。



板橋 狭山

教養講座「オーケストラ鑑賞」

6月10日、学生生活支援行事として教養講座「オーケストラ鑑賞」がサントリーホールで開催されました。142名の学生が参加し、日本フィルハーモニー交響楽団による演奏に心落ち着く贅沢な時間を体感しました。



教養講座ポスター

教養講座チラシ

十条銀座の甘味のお店

十条にある和菓子が楽しめるお店をご紹介します

学生広報 英語コミュニケーション学科 S.I



甘味処 だるまや

一件目は十条銀座に入って2分ほど歩いた右手にある「甘味処 だるまや」さん。
 お店の前にはヨモギやみたらしの串団子や、いなり寿司、お持ち帰り用のあんみつなどが売っています。中に入ると壁際に4席ほどのこじんまりとした椅子と机、ズラッと書かれたお品書きがお出迎え。
 ここのお店のお勧めはなんとといっても年中食べられるかき氷！
 取材時はかき氷ミルク宇治金時と抹茶クリームぜんざいを頂きました！

かき氷は氷自体がふわふわで口当たりが軽く、口に入れるとすぐにふわっと溶けて冷たいものを食べた時に起こる頭キーンとは縁遠そうです。

抹茶は苦めで味も量もしっかりした粒あんと、中に入っている練乳の甘さによく合います。

大きすぎず食べ切れるサイズでサラリと食べられるのも嬉しいポイントです。
 ぜんざいも苦めの抹茶でこちらは粒あんにバニラアイスが乗っています。アイスと粒あんの甘さが引き立ちます。どちらもひんやり冷たいお品になるので、一緒に出てくる温かいお茶との相性は抜群です！

来年いっぱいでお店を閉めてしまう（予定）とのこと。
 是非今年の夏にでも行ってみてください！！



十条和菓子舗 むさしや

二件目は一件目のだるまやさんからもっと奥へ歩いて行って同じく右手にある「十条和菓子舗 むさしや」さん。

お煎餅をメインとした和菓子屋さんで店の前にあるコンロで焼いたお煎餅を売っています。お店にはたくさんの種類のお煎餅を初めとした和菓子が置かれています。詰め合わせなども売っているのでお土産や菓子折り、または引き出物を買に行くのもお勧めです。むさしやさんでは割煎とあまから団子を購入しました。割煎とは丸いお煎餅をわざと割ってからお醤油に浸したお煎餅だそうで、そうすると割れ目から



醤油が入り込み味が染みて美味しくなるそうです。
 購入した割煎は薄焼きで固すぎずパリパリと食べられて、学生には課題のお供にピッタリだと思います！
 あまから団子はみたらしがたっぷりついた2連の串団子で、なんと中にはこしあんが入っています。少しお醤油の風味が残るみたらしが大人っぽい味で飲めるようなとても柔らかいお団子は、中のこしあんによく絡んでかなり贅沢な味わいになっています。

十条銀座でおすすめの和菓子屋さんの紹介でした！
 十条銀座に行く機会がありましたら是非ともお立ち寄りください！

板橋キャンパス
 狭山キャンパス

東京家政大学 おすすめキッチンカー



板橋キャンパス

学生広報 英語コミュニケーション学科 S.I

月曜日 POWDER BOO

オーソドックスなクレープの他に変わり種が勢揃いのクレープのキッチンカーで、毎回大行列ができるほど人気です！
 もちもちの生地にチョコ、バナナ、シュガーバターはもちろん、期間限定クレープはいちごクリーム、いちごプリュレ、いちご大福、おかしクレープではスモークベーコンなど、珍しいテイストが揃っています。あなたの好きなクレープが見つかるはず！
 クリームやフルーツが多くずっしりしたクレープで、オプションで付けられるチョコソースなどのトッピングが多いのも特徴です、そしてなんとそのトッピングは SNS のフォローといいねをすると無料になったり、割引になることがあります！ぜひお店の SNS を覗いて見て下さい♡



火曜日 cookus

クロップルを販売しているキッチンカーです。オーソドックスなクロップルにアイスやホイップなどを追加して700円程で甘い物が楽しめます。
 実際に食べた感想はボリュームも甘さも申し分なくしっかり甘いものを食べたい時にはもってこいな1品になっています。
 またイーストフードやショートニング、マーガリンを使用しないという体に優しい、美味しいクロップルを作るこだわりがあります。



金曜日 KANPARIS

ガレット・コンプレットのキッチンカーです！このキッチンカーではフランス料理のいわゆるガレットを食べ歩きができるように、片手で持てるサイズに丸めて販売しています。そば粉の薄い生地地に卵にベーコンにたっぷりのチーズで片手サイズでもずっしりでボリュームな1品になっています。
 このお店ではガレット・コンプレットだけでなく、ガレットの生地で作った薄くてパリパリのシュガーバターやキャラメルラテを売っているのでガレット・コンプレットと合わせて楽しんだり、おやつにするのもおすすめです！
 店員さんがとても気さくな方なのでキッチンカーを訪れると元気になりますよ♡



グローバルで多彩なキッチンカーでキャンパスライフを楽しんでいます！

狭山キャンパス

学生広報 子ども支援学科 K.S T.A MK

火曜日 ザッカフェ

雑貨屋さんがクレープを販売しているのが特徴です！キッチンカーでは、アクセサリなどおしゃれな小物も買えますよ！
 1番人気はバナナチョコ！米粉を使って、生地をモチモチに仕上げています
 ご飯系の照り焼きチキンを、ワッフルサンドもお勧め！
 学生と職員は、全品50円引き！！
 販売だけでなく、福祉施設を回ったり、子どもたちをキッチンカーに乗せて、クレープ作り体験を行ったりしているそうです！



水曜日 ny's

国産小麦使用で生地から手作りのワンハンドピザです！
 人気ナンバーワン & 店主イチオシ商品は「マルゲリータピザ」
 もちもちした生地にチーズがトロリ。
 軽い食べ心地で、おやつ代わりに最適！
 ピザだけでなく、メキシカンライスやピザサンドなどを販売しています。
 人気のあるキッチンカーのため、売り切れる事が多いそうです！
 早めにご購入することがポイントです！



木曜日 WAKUWAKU

からあげのキッチンカーです！とてもジューシーで、ボリュームたっぷりなからあげが、なんと4個で300円。お得ですね。
 ふりふりポテトはフレーバーが18種類と豊富で、お昼休みに友達といっしょに食べたら楽しいかも
 おそらく、一番人気のキッチンカーで、いつも長い行列ができています。



第10回 狭山緑苑祭

狭山キャンパス

開催日
2023 10/22 (日)

委員会紹介

今年度の狭山緑苑祭実行委員会が始動しました！(委員会人数41人)
この委員会では10月22日(日)に開催される狭山緑苑祭を企画・運営しています。今年は、狭山緑苑祭が第10回の節目を迎えます。実行委員一同、気合を入れて活動します！
今年度の狭山緑苑祭も委員全員で盛り上げていきます。みなさんのご協力よろしくお願いします！



狭山緑苑祭実行委員会

キャラクター紹介

かせいのモリタン、かせいのモリリンは、狭山キャンパスの公式キャラクターです。狭山緑苑祭を始め、学校行事で多くの方と交流し、キャンパスを盛り上げます。狭山緑苑祭でも皆さんにお会いできるのを楽しみにしてまーす！

★プロフィール★

【性格】かせいのモリタン：元気 かせいのモリリン：やさしい
【好きな食べ物】かせいのモリタン：冷たい狭山茶、寮生がかせいの森に実る梅で作ったジュース
かせいのモリリン：かせいの森に実るキウイやブルーベリー、山菜



かせいのモリタン

【モチーフ】狭山キャンパスにそびえるメタセコイアの木
【込められた想い】空に向かって枝葉を伸ばしていくメタセコイアのように東京家政大学も更なる発展を遂げたいという想いと、メタセコイアが見せる春夏秋冬の色に人の一生を重ね合わせ、学生の今と未来を応援したいという想いが込められています。



かせいのモリリン

緑苑祭テーマ

10th Anniversary!! ~これから、あなたと共に~

このテーマには「10回目という節目だからこそ、いつもは恥ずかしくて言えない『これから共に歩んでいきたい』という思いを伝えたい。それは大学の先生方や職員、清掃員の方、食堂の方、守衛所の方、かせい森のおうちやつくしの先生方と子どもたちへ。そして、いつも隣にいてくれる友達への感謝の思い」を込めています。

SNS アカウント

狭山緑苑祭実行委員の活動などをSNSで発信しています。ぜひ、SNSアカウントのチェックとフォローをお願いします！
当日ボランティアの参加もお待ちしております！



Twitter
@s_ryokusai



Instagram
@s_ryokusai10

訂正: なでしこ96号・15ページ 狭山緑苑祭開催日に誤りがありました。正しくは2023年10月22日(日)です。



成長するマリーゴールド



野菜と花を組み合わせたポタジェガーデンに取り組む学生



第63回 緑苑祭

板橋キャンパス

開催日
2023 10/21 (土)・22 (日)

委員会紹介

今年度の緑苑祭実行委員会が始動しました！(委員会人数51人)
この委員会では10月21日(土)、22日(日)に開催される緑苑祭を企画・運営しています。毎週木曜日に学科・科・学年関係なく和気あいあいと楽しく活動中です！
委員全員で緑苑祭を盛り上げていきます。みなさんのご協力よろしくお願いします！



板橋緑苑祭実行委員会

キャラクター紹介

りょくくんは、東京家政大学板橋キャンパス緑苑祭の公式キャラクターです。緑苑祭では、りょくくんと会える企画を準備しています！ぜひお越しください！りょくくんも待っています！

★プロフィール★

【誕生日】11月16日
【性格】マイペース
【好きな食べ物】アップルパイ
【好きな色】緑
【特技】みんなを元気にすること、癒すこと
【使命】緑苑祭を盛り上げること



りょくくん



昨年の緑苑祭の様子



仲間を募集中のりょくくん

緑苑祭テーマ

新呼吸—めぐりあう—

このテーマには「深く息を吸い、新しい世界に出会う」という意味が込められています。「新呼吸」には、学生全員が視野を広く持ち、様々なことにチャレンジすること、「めぐりあう」には、たくさんの方々ともめぐり合うことで力を得て、緑苑祭と東京家政大学を盛り上げたいという願いが込められています。
昨年のテーマ「再出発—新しい旅へ—」から繋がるテーマになったと考えています。

SNS アカウント

企画の紹介や実行委員の活動などを発信しています。ぜひ、SNSアカウントのチェックとフォローをお願いします！
今年も緑苑祭の運営サポートをしてくださるボランティアを募集します。詳細は後日ポータルで配信します。お友達との参加も大歓迎です！みなさんの力が必要です。ご応募お待ちしております！



Twitter
@ryokusai_j



Instagram
@ryokusai_j

授業紹介 「幼児と環境」—授業におけるポタジェガーデンの取り組み—

児童学科・保育科では、佐藤康富教授が担当する授業「幼児と環境」において、保育施設での自然環境の活用の一環として、栽培活動に取り組んでいます。

現在、百周年記念館の前庭にプランターを用いて、学生がグループ毎に、野菜と花を組み合わせたポタジェガーデンやコンパニオンプランツに取り組んでいます。

これらの栽培方法は植える野菜と花の特性を考え、病害虫を抑え、共生して作物が育つようにするものです。またここで使う土は、学内のコンポストで再生産されたものを使用しています。

学内でのサステナブルな取り組みを学ぶと同時に、学生は手間暇をかけ、自分達が植えた小さな命が育ち、収穫する喜びに胸躍らせながら、毎日、植物の世話を勤めています。



キャリアサポーター インタビュー

たくさんの可能性を広げて

東京家政大学 学生支援センター キャリア支援課

森玉 紗希

 (キャリア支援課歴5年目)

自分の夢を叶えるために
 進学、就職、結婚、出産、仕事復帰…みんなが抱えているこれからの自分の未来への漠然とした不安。
 学生支援センターキャリア支援課では、学生の進路についてサポートを行っています。
 同課でキャリアサポートを行う一人、森玉紗希さん。
 キャリアを積んで子育て真っ最中の彼女が学生の時に不安に思っていたこと、学生をサポートする立場の今、
 どんなことを伝えたいと思ひ学生を支援しているのか。
 自身の経験から学生のみなさんへのメッセージをお伝えします。

社会にでる前の学生を支えたい

——これまでの森玉さんのキャリアについて教えてください。

大学を卒業後、女性下着メーカーにてエリアマネージャーとして6年間勤務。社会人になって色々な業界に就職した友人との会話の中で「学生時代の経験・過ごし方がその後の様々な選択や価値観の形成に大きく影響している」と感じるようになりました。これをきっかけに、「社会にでる前の女子大学生を支えたい」と思ひ、東京家政大学への転職を決めました。

キャリア支援課の業務は5年目になりました。入職後2年間は低学年支援やインターンシップ支援を担当し、半年間の産休育休を挟み、3年生支援を経て、現在は4年生支援を行っています。2歳になる息子の育児と共に仕事との両立を頑張っています。

「自主自律」学生が自ら答えを導き出せるように

——1~4年生の支援の中で、学年ごとに意識していることはありますか？

一人ひとりの相談内容が異なるため、多様な知識や適切で柔軟な対応力が重要だと思っています。

学年は関係なく、学生の質問に対し「答え」を出すのではなく、建学の精神である「自主自律」の基、質問を投げかけ、学生自身に考えてもらうようにしています。

学生・仕事仲間、息子の存在、それが私の頑張る理由です

——現在子育て真最中ですが、仕事と育児の両立について率直な思いを教えてください。

毎日、両立は難しいと感じています。仕事と育児のバランスに悩んだ時期もありました。「仕事を頑張るために育児を調整する・育児を頑張るために仕事を調整する」

そのようなバランスを取るために育児での調整は、母親としてもどこかしこもありません。それでも、キャリアを積みながら仕事は続けたいという思いは変わりません。パートナーとの協力はもちろん、限られた時間の中で終えなければならぬ仕事についても、優先順位を考え、上司や周りの職員との連携をとても大切にしています。

仕事と育児を両立しながら頑張ることができる理由は、仕事へのやりがいや風通しのよい職場環境があるからだと思います。窓口で相談を受けた学生が、選考結果が出るたびに報告に来てくれます。学生のこれまでの努力をみてきたからこそ第一志望に内定をもらえたときほど嬉しくも嬉しかったんです。このように納得した進路に進めるように支援ができた時や進路に悩んでいる学生に対して一歩踏み出すきっかけを提供できたとき、喜びややりがいを感じています。そして、息子を保育園に迎えに行き、笑いながら駆け寄り、くれる姿にとても癒されています。2歳で大変な時期でもあります。休日は家族で出掛けたり、息子が好きなことをする時間を一緒に過ごすことも大

自ら答えを導き出せるよう心がけています。学生の相談を受けていると、たくさんの引き出しを持っているの、それに気付いていない学生が多いように感じます。学生のこれまでの経験が「今」を形成していることを気付かせてあげたいと思います。

自分を信じることは忘れない

——そんな森玉さんが学生時代、将来を考えたときに不安だったことは何ですか？

やはり、一番は希望する会社に内定をもらえるか、ということでした。周りの友人が内定をもらったと聞くたびに焦りがつのってききましたね。

ES（エントリーシート）も、3年生の就活スタートと同時に初めて書き、誰にも見てもらわずに選考を受けていました。就活スタートと同時に始めた自己分析や企業研究は本当に大変だったので、早めの準備をおすすめします（笑）仕事に対して自分の理想と現実のギャップはありますが、転職も含めて自分がやりたいと思ったことは信じて行動してきたことが、充実した現在に繋がっていると思います。

学生にも「自分を信じること」を大切にしてください。

切にしています。そんな息子の存在も仕事を頑張る理由のひとつですね。

人生の選択肢を広げて

——そんな森玉さんが、今の学生へどんなことを伝えたいと思ひ日々業務にあたっていますか？ また、これから進路を切り開いていく学生へ向けてメッセージをお願いします。

まずは、色々な選択肢があることを知ってほしいです。キャリア支援課が開催するセミナーや講座は、1年生から参加できます。1年生から学び、積み上げてきたものが2年生、3年生、4年生、そして卒業後もずっと繋がっていきまます。これまでとこれからの経験が、仕事だけでなく人生の選択肢となっていくはずなんです。まだまだ若い学生の皆さんには、自分の可能性、限界を決めつけず、そこからたくさんの可能性を広げてほしいという思いが強いです。

また、自分の大学時代を振り返ると、社会について知らないことが多く、視野が狭かったと感じます。学生のみなさんには、学業に専念することに加え、インターンシップで社会についての理解を深めたり、課外活動で色々な経験をjする等、幅広い視野を持つて、悔いのないよう行動してほしいです。

迷うことや失敗することもあるかもしれませんが、そのような経験も必ずみなさんの成長につながると思ひます。進路やキャリアについて迷いや悩みがありましたら、キャリア支援課には是非相談に来ていただければと思います。

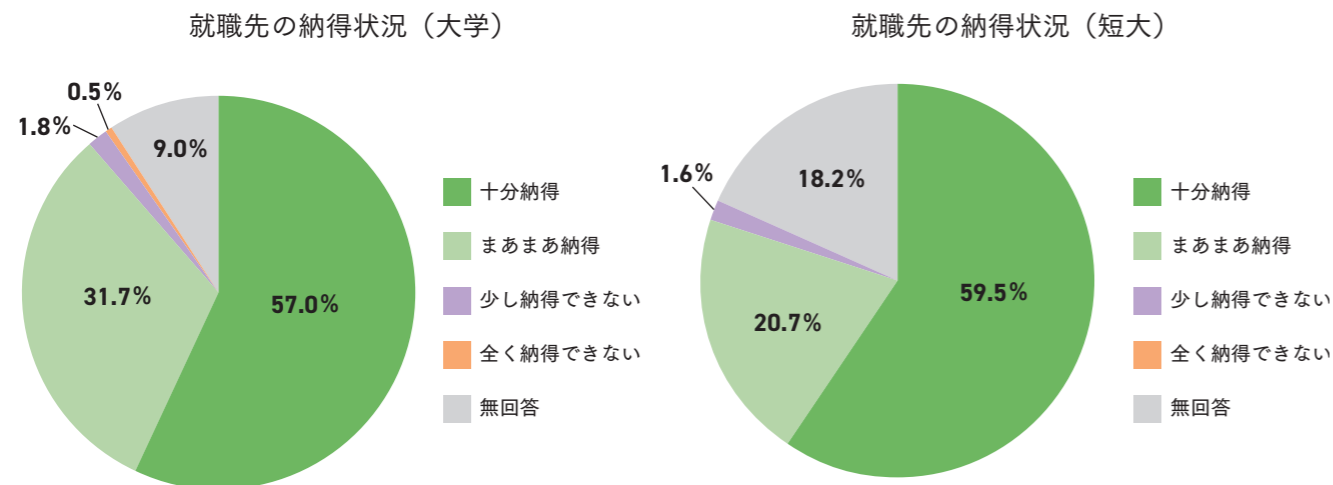
卒業生の就職への思い

- 卒業していく先輩たちが就職活動を行う上で何を重視していたのか。
- 納得した就職活動となっていたのか。

※「卒業時アンケート」…2023年3月卒業生の就職活動状況調査から掘り下げてみました。

① 就職先の納得状況

「十分納得」「まあまあ納得」を合わせると **大短共に8割以上** が自身の就職先に満足している結果に！
単に就職率が高いだけでなく、就職先への満足度も高い



② 就職先を選ぶ際に重視したこと

- 【大学】**
第1位：仕事の内容
第2位：職場の雰囲気
第3位：勤務地
- 【短大】**
第1位：職場の雰囲気
第2位：取得資格が活かせる
第3位：給与・賞与

・自らのキャリアを確実に積んでいくために、仕事内容や職場環境はとても大切な要素です。
・キャリアサポートプログラムの内容と合わせ、自分がどんな環境で働きたいのかをイメージしておくといいですね！

③ 就職活動に必要なと思ったこと

- 【大学】**
第1位：自己分析
第2位：何をやりたいのか考える
第3位：面接対策
- 【短大】**
第1位：自己分析
第2位：何をやりたいのか考える
第3位：履歴書作成

・大学・短大共に上位に入った「自己分析」「何をやりたいのか考える」はキャリア支援課で開催されている就職セミナーの中で準備することができます。
・自分を知ること（自己分析）、業界・職種・企業研究（何をやりたいのか考える）は就職活動の事前準備としても重要です。

就職活動は「内定がゴール」ではありません。

卒業後も自身のキャリアを積んでいく上で、「自己分析」から「自分が本当にやりたいこと」を知ることはとても大切です。
本学では低学年からの手厚いキャリアサポートもあり、学生一人ひとりが進路に向き合っているからこそ、高い就職率と合わせ、納得した就職活動を行えていることが見えてきました！



キャリアサポートプログラムについて

板橋キャンパス 内定までのサポートプログラム

- 【大学1、2年生対象】**
- キャリアセミナー ●基礎力養成講座
 - プレ・インターンシップ（キャリア教育）
 - ～就職ワンランク UP!～チャレンジプログラム

- 【大学3年生、短大1年生対象】**
- 進路・就職ガイダンス ●就職セミナー
 - インターンシップ ●業界研究講座
 - 仕事研究講座 ●内定者報告会
 - OG 懇談会 ●集団・GD 面接実践
 - 学内企業セミナー ●10 女子大合同就活ゼミ
 - 公務員・UI ターン研究セミナー
 - 基礎力養成講座

- 【大学4年生、短大2年生対象】**
- 学内企業説明会 ●求人紹介会
 - ブラッシュアップ講座



狭山キャンパスでの就職支援

狭山キャンパスでは看護学科・リハビリテーション学科・子ども支援学科の学生を対象に、学科の特色を生かした専門職への就職支援を1年次より行っています。就職試験で必須の小論文・面接・マナー対策、OG 懇談会や内定者報告会の開催、公務員対策講座の開講など、4年間を通じた支援を実施しています。さらに、学内就職説明会の開催、インターンシップの支援、内定した4年生による個別相談なども行っています。

- 【主なプログラム】**
- 基礎学力養成講座 ●自己発見セミナー
 - 小論文試験対策講座 ●面接・マナー講座
 - OG 懇談会 ●公務員対策講座
 - 内定者報告会 ●インターンシップ支援
 - 病院を対象とした学内就職説明会

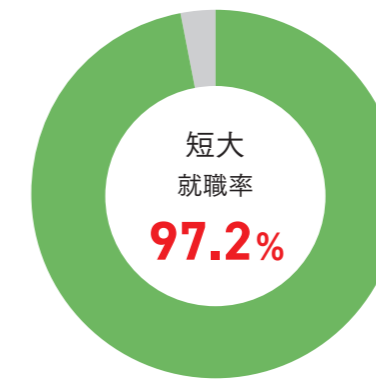
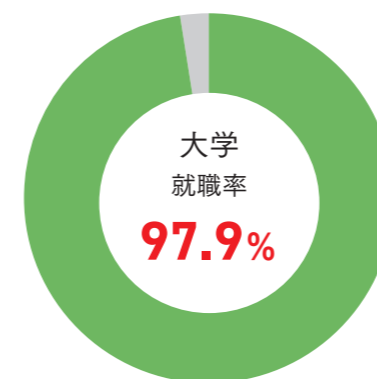


気になる！

2022年度の就職率！

今年も高就職率！！

2023年3月 1,644名の学生が卒業！
毎年高い就職率を保っている東京家政大学・東京家政大学短期大学部。



※就職率=就職決定者/就職希望者 (R5.5.1現在)



私が今、学校栄養士としてがんばれているのは、 大学時代の活動が土台!!

まつもと きょうこ
松本 恭子

(家政学部栄養学科管理栄養士専攻 2009年卒業)



2009年に家政学部栄養学科管理栄養士専攻を卒業後、東京都の栄養士として就職。学校栄養職員として墨田区立小学校に7年間勤務。その後、栄養教諭へ任用替えになり、目黒区立小学校に6年間、現在は東久留米市立小学校で勤務2年目を迎えている。農水省の補助事業「平成26・27年度 米飯給食推進事業」有識者委員、農水省和食室「平成28年度 和食継承推進協議会」協議委員として委嘱を受けて以来、全国の和食給食推進に関わる。また、国内の農業・林業・漁業などの第一次産業の産地訪問をライフワークとし、学校給食をとりまく“これからの食の流通システム”の改善を模索している。

有志団体の立ち上げ

大学時代を一言でいうと、「毎日精一杯楽しんでいた」でしょうか。最も思い出に残っているのは、自主的に立ち上げた2つの有志団体での活動です。

1つめは、2年生に進級する頃、公衆衛生学研究室の中村信也先生の紹介で出会った米農家さんと一緒にすすめた「白藤プロジェクト」です。新潟の稲作の田植えから稲刈りまでの実際から、循環型の農業、酒の仕込みや化粧品開発などの産業の六次化、米の商品開発による食物アレルギー対応の広がりなど、大学卒業までの間に本当に多くの活動をする事ができました。多くの同級生や後輩も仲間の輪に加わり、延べ1000人を超える参加者があった活動となりました。その間には、新潟県をおそった中越沖地震もあり、募金活動や被災地のアレルギー児支援の現場にも立ち会うことができました。

もう一つは、「食探究会」という同級生12名で結成した活動でした。「何かしたいけど、何がしたいかわからない人は、名前を書いてください」という一枚のルーズリーフをクラスに回して始まったこの有志団体では、「誰かのやりたいことを、みんなで挑戦する」という活動を掲げました。様々なキャッチーで楽しい案があった中、どうしてか私たちは「食品添加物の光と影」という講演会を開くことを最初の活動としました。大学後援会「ドリームプラン」の奨学金をいただき、11か月もの間、日常のカリキュラムの他に食品添加物

に関する勉強をしたり、街頭アンケート調査のために街へ出たり、プレゼンテーションにまとめた、その実現に向け努力しました。その過程では、メンバーが相互に支え合ったり、一人ひとりの新たな一面を知ったりと、多くの収穫がありました。その後は、卒業生の運営していたカフェの定休日を借りて1日カフェオープン体験、児童教育学科の学生と共に幼児のためのキッズメニュー開発、祭りの大学における開催など、多くの学生とたくさん挑戦をしました。

活動の中では、どの団体の設立も「顧問不在で、団体として認めない」ということで、それに顧問になってくださる教授を探しました。また家政大の中でチラシを配ったり掲示板に貼ったりする許可を申請するなど、今までに前例の少なかった活動のために大学職員さんと連携する必要もありました。これらの課題が目の前に来た時、私たちの活動を支えたのが「道草食いたいです！」と顧問のお願ひに行ったときに教授に伝えられた私たちの思いでした。

大学生生活を「自分らしい時間」に

ここに辿り着いたのは、実はそれまでの学生生活への後悔があつたことでした。大学1年生の1年間は、毎日学校に行つて、授業を受けてレポートを出すことに時間を割き、部活やアルバイトに一生懸命になる、まさに高校生のような過ごし方でした。そこから目を覚まさせてくれたのは、ス

ポーツ栄養研究会のOB会で、卒業生代表の先輩からの「自己紹介では、自分の今後のビジョンを話してください。」という一言でした。自己紹介では、「カフェを開きたい」「レシピ開発がしたい」という、想像もしなかった友人の声を聞きました。これが「何も知らなかったことへのショックと共に、後の3年間を自分らしい時間にした」という、新たな決意に変わっていきました。

自分を磨き上げるために

それからというもの、前述の様々な活動を経て「学生であること自体が社会へのフリーパスを持つているようなものだ」と思うようになりましした。学生が、企業やOB訪問をしたいと思つたとき、課題はあるにせよ多くの場合には受け入れてくれます。学生が自らの思いで活動しようとしたとき、多くの教授や職員の方、社会人の皆さんはそのことを喜んでくれるでしょう。

その時、私が最も大切だと思うのは、「何を体験したか」ではなく、「その体験を通して何を考えたか」ということだと思います。ボランティアやインターンシップなど、体験したことこの先にある「そのことを自分がどう感じ、何を考えたのか」というのが、大学生である自分をより磨き上げるのだと思います。言葉にすることで、その体験の深みが増すと同時に、またその言葉に対して誰かの共感・質問・反論を生むことが、さ



3年生と梅干の手入れをする様子

らに自分の考えを深めてくれるという経験をしました。そうして築き上げた感じ方や考え方は、就職活動やその後の社会人生活に大きな指針となるものだと思うのです。私で言えば、今でも産地訪問などで学び続け、目の前の子ども達や地域の変化に合わせて、今必要なことは何なのかを考え、行動することにつながっている気がします。

そのような貴重な大学生活に、新しい一歩を踏み出すチャンスは、教授や職員の方、友人との関わり、家庭や地域での出来事の中にたくさんあります。ぜひ、そのチャンスを見逃さず、自分の心が動く経験を、たくさんしてください。

小学校教育の現場で

栄養教諭として

私は今、学校を拠点とした「より良い食の循環とは何か」についてよく考えています。大学時代に食品添加物の光と影を知ってから、日本人の食に対する価値観の良い面にも悪い面にも触れてきました。

「白藤プロジェクト」や「食探究会」での活動のように、今でも生産者訪問や、食をとりまく諸課題の学習に加えて、教育研究を軸とした栄養教諭の職にあつています。栄養教諭としては、①毎日の給食献立を美味しくして教育的価値のあるものに、その実現のために調理員の方と努力を重ねること。②産地訪問で出会った生産者の方と子どもをつなぐコーディネート役として小学校の社会、図工、総合的な学習の時間などに参画したり、あらゆる

教育活動の中でその経験を生かすこと。③有機栽培や無農薬無肥料栽培、より運搬距離の短い地場産物、産地直送の魚や海藻などの給食利用を中心としたより良い食の物流システムの構築、に取り組んでいます。食の物流システムについて、最近では給食施設から出る野菜くずを、電気などのエネルギーを使わずに堆肥化し、学校と農家の土づくりに貢献するプロジェクトを立ち上げています。

これらの挑戦の土台となっているのは、大学時代に知り組んだ様々な活動から学んだすべてのことだと確信をもっています。多くの活動を支えてくれた大学職員の方から教わった「Aをしたら、Bはできない」という考えを捨てなさい」という言葉は、言い訳せずに日常から物事を前にすすめる後押しになっています。さらに、活動で迷ったときに言われた教授の「良いことは良い、悪いことは悪い。良いと思つたらやりなさい。」という言葉は、業務の中でも、新たなプロジェクトの中でも判断の基準になっています。

大学での多くの活動の中で「自分が感動した言葉しか、人には伝わらない」とことや、友人との関わりの中で知った「人(他人)は必ず、自分の想像を超える。想像は、想像でしかない。」ということ、産地訪問では「情報は、自分の目で見て確かめたものを核として考える。」ということを学びました。今は栄養教諭として、「何が子どもたちのためになるのか」という問いをもって、身の回りに起こること、社会情勢を見て教育活動に取り組んでいます。私が大学時代に体験したことが、私にとつての食育そのものだったのだと思います。

東京家政大学附属 女子中学校・高等学校

バトントワーリング世界大会へ

今年の夏、イングランド・リバプールで開催されるバトンの世界大会に高校生が出場。

活躍を、期待しています！

2023年8月4日～13日 IBTF世界バトントワーリング選手権大会 日本代表

- ソロ・トゥーバトン 女子ジュニア部門 朝倉 珠生 (高1)
- アーティスティックトワール 女子ジュニア部門 鈴木 愛弓 (高2)



「私は、幼稚園の年長からバトン始めて約10年となります。悔しい思いもたくさんしてきたけれど、日々目標に向かって練習をしています。今回初めて、世界大会に出場させていただくことになりました。初めてなのでとても緊張しますが、楽しめるよう頑張りたいと思います。また、高校生活との両立も頑張りたいと思います。」朝倉



「こんにちは。私は今回、初めて世界大会に出場させていただきます。私は5歳からバトンを始め、技ができるようになる達成感と、ダンスで表現することの楽しさを知り、バトンが大好きになりました。世界大会という大きな場で演技するのはとても緊張しますが、精いっぱい頑張ります。」鈴木



コロナも明け、語学研修再開！新規ターム留学がスタート！

附属中高では、以前よりカナダのホームステイ体験、オーストラリア現地高校体験入学、セブ島での英語集中レッスンなどの語学研修を行っていました。しかしここ数年はコロナ禍でなかなか海外へ行くことができず、残念な思いをした生徒も多かったはず。社会の状況を鑑みながら、昨年度から徐々に準備を始め、今年度ついに語学研修を実施できることになりました。東京家政大学グローバル教育センターの紹介で、以前より大学と交流のあるニュージーランド・マッセイ大学において夏休みの3週間、語学研修と文化体験のプログラムを行う予定です。多くの生徒から応募があり、今年度は24名の生徒がニュージーランドのパーマストンノースでホームステイを体験しながら、広大で豊かな自然に囲まれたキャンパスで英語とニュージーランド文化を学びます。

また、新しい取り組みとして、オーストラリア、ニュージーランドの現地高校へ1学期間留学するターム留学の制度も始まります。オーストラリアは8週間、ニュージーランドは10週間のプログラムです。今年度は高1、2年生の8名の生徒が7月からそれぞれの国へ旅立ちます。ホームステイや現地校での授業、現地生徒たちとの交流を通じ

て、英語力を磨くだけでなく、異文化の中で自分と向き合い、新しい価値観や広い視野を身につけてくれることを期待しています。

コロナ禍を経て、世界も大きく変わりつつあります。生徒たちは我慢の日々を過ごしてきたに違いありません。今こそ自分の足で海外に赴き、現地の空気を大いに吸い込み、広い世界を見てきてほしいと思います。

マッセイ大学語学研修 スケジュール

- 7月22日 東京発
- 7月23日 オークランド空港発 パーマストンノース空港着
ホストファミリーと対面し各家庭へ
- 7月24日～8月11日
マッセイ大学にて語学研修、校外学習
(首都ウェリントンや国立博物館・パバ、ビーチなど
さまざまな場所を訪れる予定です)
週末はホストファミリーと過ごします
- 8月12日 パーマストンノース空港発 オークランド空港着
オークランド市内観光
- 8月13日 オークランド空港発 東京着

入試イベント情報

附属中学校

学校説明会

- 第2回 9月9日(土) 14:00～
- 第3回 10月14日(土) 14:00～

オープンスクール

- 第1回 7月16日(日) 9:00～
- 第2回 7月16日(日) 13:00～
- 第3回 8月27日(日) 9:00～

ミニ学校説明会

- (いずれも土曜日 10:00～)
- 9月2日・16日 10月7日・28日
- ※施設・授業見学、個別相談ができます。

[中学校・高等学校共通]

- 緑苑祭 10月21日(土)・22日(日)
10:00～16:00
- ※入試相談室を開室いたします。



オープンスクールの様子



イベントの詳細・予約

附属高等学校

学校説明会

- 第2回 7月30日(日) 10:00～
- 第3回 8月26日(土) 10:00～
- 第4回 9月17日(日) 10:00～
- 第5回 10月15日(日) 10:00～
- ※成績UP講座も開催(9:00～)

部活動体験会

- 第1回 8月5日(土) 9:00～
- 第2回 9月30日(土) 14:00～
- 第3回 10月28日(土) 14:00～

土曜見学会 (いずれも土曜日 9:30～)

- 9月2日・9日 10月7日
- ※施設・授業見学、個別相談ができます。



イベントの詳細・予約



自然豊かなマッセイ大学のキャンパス



エントランス



レストラン



果樹園 (リンゴ)



獣医学部



果樹園 (キウイ)

児童発達支援事業所 わかくさ

板橋

発達に気になるお子さんが、幼稚園や保育園と併用しながら通室し、療育を行う施設が東京家政大学内にあります。

1966年(昭和41年)に児童学科の跡見一子教授が学生を募り、「わかくさグループ」として、集団治療室で障がい児の保育を開始したのがわかくさの始まりで57年という長い歴史があります。

令和2年7月に東京都から認可を受け、「児童発達支援事業所わかくさ」として新たにスタートしました。

わかくさの特徴は、年長児も保護者と一緒に療育を行い、様々な遊びを提供し経験を広げながら持っている力を引き出していきます。また、保護者の方も一緒に楽しく遊びながら、お子さんの姿をスタッフと共に多面的に見つめ、理解を深めながら、適切なかかわ

り方を学んでおり、大人も子供も共に育ちあう場所となっています。

わかくさのモットーは「楽しもう!!」です。楽しく活動に取り組むことで、その活動が大好きになり、何回もやりたくなり力になっていきます。わかくさでは、子どもたちが大好きになるような楽しい活動をたくさん提供していきたいと思っています。

また、わかくさは、大学内に児童発達支援事業所があるということをも有効に活用できる学生の学びの場でもあります。ここで行われている一人ひとりに合わせた療育(保育)に触れ、学ぶことは、子どもにかかわる学科の学生が、将来、現場に出たとき、大きな力になると考えており、見学やボランティアなどを積極的に受け入れています。

夏祭りの一コマ

わかくさでは、毎年7月の終わりに夏祭りを開催しています。各グループの療育の中で、お祭りをイメージした活動を取り入れながら、お祭りの楽しい雰囲気を味わっています。

お祭りによくある「魚つり」「ゲームコーナー」などのお店を作り、子どもたちは自由に好きなお店を回ります。

楽しく遊びながら、目と手の協応動作、追視する力、集中して見る、自分で決めて選ぶ…など、様々な力を育てていきます。

「わにさん たたき」

4匹のワニがあちこちから出てきます。それをハンマーで叩くゲーム。ワニがどこから出てくるか?集中してよく見る、ワニの動きを目で追う、出てきたワニを逃げられないように叩く…、みんな、大興奮です。



「魚つり」

自分のお気に入りの魚を狙って、釣りあげます。釣り竿の先についているU字になっている針を魚についているわかに引っ掛けて釣りあげます。道具を使い、狙いを定めて釣り上げることはとても難しいのですが、集中して取り組みます。釣りあげて満足の子、お気に入りの魚が釣れなくてちょっと残念な表情の子…と様々ですが、袋に入れてもらい、お土産にしてもらうと「にっこり」です。

かせい森の放課後等デイサービス つくし

狭山

2015年4月狭山キャンパス内に、全国でも数少ない大学の附置施設として設置されました。狭山キャンパス内にある「かせい森のクリニック」の小児神経内科(発達障がい)と連携し、手厚いサポート体制を整えています。ここでは、軽度発達障がいの児童を対象に好きなこと、得意な活動に参加し、たくさん褒められることによって、自己肯定感を高めることを自立の中核において活動しています。

指導者は、小中学校等で長年にわたって教職に就いていた元教員と子ども支援学部の学生が務めています。施設での活動は、児童が運動、音楽、絵画・造形から好きなコースを選び、指導者と学生がその活動を見守り褒めるという、きわめてシンプルなもの。

利用している児童からは「楽しい!」「ストレスがない!」という声が上がっています。

指導者と児童とも対話を大切にしながら活動を行っています。

【子ども支援学部の学生の声】

- この施設は、子どもを褒めることに重きをおいており、能力を引き出す積極的な姿勢に施設の明るい印象を持った。
- 幼稚園教諭をしている母が、発達障がいを持つ子どもに対応できる人が少なくなっていると言っていた。大学生のうちから発達障がいとかかわる機会があることは、今後大いに役立つと思った。



リズム遊び



工作遊び



本学学生と児童の関わり



森のサロン 板橋区地域子育て支援拠点事業

板橋

森のサロンは板橋区地域子育て支援拠点事業の委託を受けて、本学のヒューマンライフ支援センターが運営する子育てひろばです。

0~3歳のお子さんを持つご家庭を対象に、親子の交流の場として『あそびのひろば』『子育て相談』『子育て情報の提供』『子育てに関するイベントや講座』を実施しています。学内の環境を活かしながら、ミニ菜園や草花あそびなど、自然や食につながる体験やあそびも取り入れています。



森のサロン室内風景



室内での遊びの様子

「森のアトリエ」イベント紹介

毎月1回、主に土曜日に実施している「森のアトリエ」では、自然あそび、クラフト、造形、ワークショップなど、季節ごとにさまざまなテーマであそびの提案をしています。

こちらは2、3歳の親子10組~15組を対象に申込制で行っており、家族で参加できます。

7月は1号館前の芝生ひろばで水の感触や色を感じる「く水あそび」を計画中です。興味のある方はぜひ、森のサロンまでお問合せ下さい。



染紙あそび どんな色に染まったかな



手作り金魚すくい



水風船つかみ



ビニールのおぼけちゃん

森のサロン7月のイベント情報

- 7月10日(月) 10:00~12:00
「ふれあいあそびうた」(1~3歳親子13組・要申込)
- 7月22日(土) 10:00~12:00
「森のアトリエ みずあそび」(2・3歳親子12組・要申込)

詳細は森のサロンHPにてお知らせします。

お申込みは森のサロンに直接またはお電話にて。お問合せは下記までお願いいたします。

森のサロン問い合わせ先

森のサロンHP



Tel : 03-3961-6354

Mail : morinosalon@tokyo-kasei.ac.jp



萩原なつ子 NVEC 理事長と樋口恵子先生 (2022.12.11 本学にて)
出典：国立女性教育会館ホームページ (https://www.nwec.jp/)

女性未来研究所 樋口 恵子 名誉所長

国立女性教育会館開館 45周年記念インタビューを受けました。

女性未来研究所名誉所長樋口恵子先生が独立行政法人国立女性教育会館の開館45周年記念第5回理事長インタビューを受けました。
対談の全文をご紹介します。

※出典：国立女性教育会館(NWEC)のHPより

萩原：樋口さんは、1932年生まれの90歳。中学時代の結核をはじめ、いくつもの病気やけがを乗り越えて、現在も評論家として執筆や講演などの活動に積極的に取り組んでいらっしゃいます。

樋口さんは、大学卒業後に新聞社や企業で勤務した後、1971年に評論家として独立。1983年には「高齢社会をよくする女性の会」を設立しました。以来、東京家政大学教授に就任し、内閣府男女共同参画会議議員、男女共同参画会議・基本問題専門調査会委員、「仕事と子育て両立支援専門調査会」会長、厚生労働省社会保障審議会委員、社会保障国民会議委員など、国の審議会等の委員を歴任されています。現在は、NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長、東京家政大学名誉教授、同大学女性未来研究所名誉所長を務めていらっしゃいます。

また、1989年の新語・流行語大賞を受賞した「濡れ落葉」の外、「人生100年時代」「すべての道はローバ(老婆)に通ず」などその時代が抱える課題

を端的に表現した言葉を発信し続けてきました。さらに、女性の貧困化「BB(貧乏ばあさん)」防止の必要性や、平均寿命と健康寿命の間の約10年を「ヨタヘロ」と命名し、自身のヨタヘロ体験を綴ったエッセイ集を出すなど、数多くの本の執筆もされています。

今回のインタビューでは、これからの社会づくりに必要なことや様々な活動の原動力となるものについてお話を伺いました。

※インタビューはNWECのHPに掲載されています。



樋口恵子先生
出典：国立女性教育会館ホームページ (https://www.nwec.jp/)



萩原：今後の社会づくりに必要なことは、どのようだとお考えですか？
樋口：最近が高齢者関係のことばかりやっている、その側面からお話します。長寿というものは平和の賜物です。私はいつもそこに立ち返って考えています。
日本は、女性は世界一、男性も世界二位、男女合わせれば世界トップレベルの長寿の国です。昭和20年、当時の厚生省が国勢調査を実施したとき、平均寿命が、男が約23歳程度だったそうです。本当に驚きました。私は、戦火によって平均寿命を縮められた世代の方たちの魂が安らかに眠れることを祈

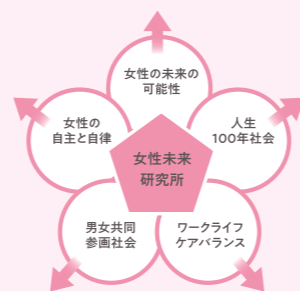
るという意味でも、社会づくりが必要だと思っております。それは、残念ながら過去に亡くなった方にも、まだ生まれていない方にもできないことです。私も90までなんて生きられっこないと思っていたら、この間90歳になって、自分でもびっくりしています。長生きできることは平和と皆様の勤勉による一定の豊かさのおかげです。
平均寿命で見ると、女性は男性より寿命が6年長いです。男女の人口の比率は年齢が上がるほど女性が多くなります。65歳以上の男女比は4対6、85歳だと女性は男性の約2倍います。また、85歳以上になると、死別して独身になる人も増えます。今の社会を家族が少なくなっていくファミリーレスな社会「ファミレス社会」と私は呼んでいます。戦前は婚姻率が高い国でしたが、最近では、50歳通過時の独身率は、男性は約25%、女性は約16%です。昔、保育所をたくさん作ってあげれば、もう少し働きやすい社会ができていけば、少し違っていかたかもしれませんね。昔は保育所をたくさん作ってくださったと言っても、「そういうことをするから子供が産まれないのだ」と反対され、「3歳までは母の手で」という3歳児神話

女性未来研究所とは

2014(平成26年)4月に板橋キャンパスに設置されました。建学の精神である「自主自律」、生活信条である「愛情・勤勉・聡明」と長年にわたる女子教育の伝統に基づく、本学固有の女性研究を行うとともに、その成果を社会に広く公表し還元することで、多様性を尊重する共生社会の実現と男女共同参画社会における女性の活躍を支援することを目的としています。

研究所が目指すもの

「女性の未来の可能性」、「人生100年社会」、「ワークライフケアバランス」、「男女共同参画社会」、「女性の自主と自律」の、特に5つの分野での研究を深め、未来の女性を、ひいては人間と環境の未来をより豊かにすることを目指します。



東京家政大学ヒューマンライフ支援機構女性未来研究所主催講演会が開催されました。

「ジェンダー平等の実現のために～環境に優しい持続可能な社会と私たちの役割～」

環境社会学、ジェンダー研究を専門とする萩原なつ子氏(独立行政法人国立女性教育会館理事長)が登壇。ジェンダー視点から見る環境問題全般について、持続可能でより豊かな社会に繋げるために私たちが身近なところから出来ること、役割について考える講演となった。

日時：2023.6.15 15:30～17:00

講師：萩原 なつ子 氏

独立行政法人 国立女性教育会館理事長
認定特定非営利活動法人日本NPOセンター代表理事、立教大学名誉教授。専門の環境社会学、ジェンダー研究、非営利組織論を活かし、地域活動支援や、政策提言を行っている。

K 東京家政大学
東京家政大学短期大学部

家政大のまなびを体験しよう!

詳細はコチラ▶



2023 OPEN CAMPUS

板橋キャンパス

(児童学部・栄養学部・家政学部・人文学部・短大)

7/9 (日) 8/6 (日)
10/1 (日) 12/10 (日)

渡邊辰五郎(自主自律) AO入試説明会

8/19 (土)

※板橋キャンパスにて実施。
全学部(造形表現学科を除く)
・短期大学部対象。

狭山キャンパス

(健康科学部・子ども支援学部)

7/23 (日) 8/20 (日)
9/30 (土)

造形表現学科 独自オープンキャンパス

9/10(日) 11/5(日) 12/16(土)

※各イベントの内容は一部変更・中止となる可能性があります 詳細はホームページを必ずご確認ください。

CAMPUSの夏

130,000㎡を超える広大な両キャンパスには夏を感じさせる花が咲き、やさしさを与えてくれる。



アジサイ



リリウム・ブルビフェラム
(ユリ科)



シナナツツバキ

Tokyo Kasei Press Vol.97 学校法人渡辺学園 広報誌なでしこ 2023年7月発行

- 発行人
菅谷 定彦 (学校法人渡辺学園 理事長)
- 編集責任者
岩井 絹江 (広報・宣伝部 部長)
- Tokyo Kasei Press WG 編集メンバー
吉村扶見子、田中江梨子、後藤 直哉
- 表紙デザイン
坂本 理恵

- 編集・発行
学校法人 渡辺学園 広報・宣伝部
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
電話：03-3961-5690
- 制作・印刷
上毛印刷株式会社



■なでしこ97号アンケートにご協力をお願いします



次号98号は、2023年10月発行の予定です。
掲載希望の記事がありましたら、広報・宣伝部にご連絡ください。

2024 東京家政大学入試情報

お問い合わせ

東京家政大学
アドミッションセンター
TEL.03-3961-5228 (直通)
nyushi@tokyo-kasei.ac.jp



▶ 入試方法

東京家政大学・東京家政大学短期大学部ではさまざまな入試方法を導入しており、自分に合った入試方式が選べます。

渡邊辰五郎(自主自律) AO 入試

インターネット
出願実施

内容

渡邊辰五郎(自主自律) AO 入試とは、高等学校長の推薦による学校推薦型選抜やペーパーテストの点数による一般選抜とは違い、受験者と本学との相性を確認する総合型選抜です。「東京家政大学の建学の精神や校風をどのくらい理解しているのか」、「志望する学科・科・専攻でどんなことを学び、学んだことを将来どう生かしていきたいか」など、受験者の夢ややる気を発掘し、これからにつなげます。

実施学科・科

大学：全学科(造形表現学科を除く) 短大：全科

エントリー資格

- 日本の高等学校もしくは中等教育学校を2024年3月卒業見込みの女子
- 本学の建学の精神「自主自律」の理念を理解・賛同し、リーダーシップが発揮できる者
- 本学及び志望学科・科・専攻を第一志望(専願)とする者
- 高等学校3年1学期までの全体の学習成績の状況が下記の各学科・科の基準を満たしている者(2期制の学校については、出願段階での学習成績とする)
※栄養学科、管理栄養学科、看護学科は3.5以上。他の学科・科は3.0以上

1 学科説明・模擬授業受講

下記日程のオープンキャンパスまたはWebオープンキャンパスの動画を視聴

- オープンキャンパス(来校型)
7月・8月に実施される各学科・科のオープンキャンパスに参加してください
- 渡邊辰五郎(自主自律) AO 入試説明会
板橋 全学部(造形表現学科を除く)・短期大学部
日程：8/19(土)
オープンキャンパスに参加できなかった方を対象に、説明会を実施します。説明会に参加後、必ずWebオープンキャンパスを視聴してください



Webオープン
キャンパス

2 1次審査エントリー

- 大学 9/1(金)～9/9(土) 郵送必着
- 短大 9/1(金)～9/22(金) 郵送必着

3 大学1次審査

- 日時：9/24(日)
- 場所：板橋キャンパス
- 内容：①文章による自己表現
②プレースメントテスト(国数英の基礎学力を問う問題)
※②は管理栄養学科と心理カウンセリング学科のみ評価対象に加える。

4 大学1次結果通知

郵送通知 9/29(金)

5 大学2次審査・短大1次審査

- 大学2次審査は1次合格者のみ学科別に実施します
日時：10/8(日)
- 場所：板橋キャンパス(児童、栄養、家政、人文、短大)
狭山キャンパス(健康科学、子ども支援)
- 内容：[大学] 学科ごとの課題 [短期大学部] 面接

6 結果通知

郵送通知 10/12(木)

7 出願

- 出願期間 10/13(金)～10/18(水)
- この段階で検定料を納入
- 出願書類を郵送

8 合否発表

Web発表 11/1(水)

9 入学手続締切

入学手続締切 11/8(水)

自己推薦型 AO 入試 (造形表現学科のみ実施)

インターネット
出願実施

内容

受験生自身が「大学で学びたいこと」と、学科が「このような人に学んでほしい」と考えることを面接や授業体験を通して相互に確認しあう入試です。

子ども支援学科 AO 入試 (子ども支援学科のみ実施)

インターネット
出願実施

内容

子ども支援学科を志望する受験生に対して、受験生のこれまでの学びの経験や活動での取り組みで努力してきたことと、学科で学びたい内容が合致していることを重要視する入試制度です。

英語コミュニケーション学科 AO 入試 (英語コミュニケーション学科のみ実施)

インターネット
出願実施

内容

英語コミュニケーション学科のアドミッションポリシーと受験生の英語力を重要視する入試です。英語外部試験のスコアと自己推薦書、調査書で選考を行います。

英語外部試験利用入試 (公募推薦・併願制)

インターネット
出願実施

内容

英語外部試験のスコアと、自己申告書、調査書(学習成績の状況)を評価します。英語外部試験のスコアは本学の定めた換算表(方法)に基づき、換算得点に変換し合否判定に利用します。
※併願制ですので、出願後も他大学への受験が可能です。

理事長コラム 世界を生きる

学校法人 渡辺学園理事長 菅谷 定彦

日経米州編集総局長時代①

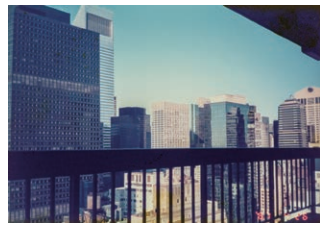
マンハッタンの新居は S・スタローンが住んだ部屋

1986（昭和61）年12月、日本経済新聞社は森田康社長主導の下、グローバルゼーション時代に対応した編集局の海外取材体制強化を決めた。従来の特派員陣からニューヨークに米州編集総局、ロンドンに欧州編集総局を新設。東京本社との「三極編集体制」を1987年3月2日付で発足させる内容である。

ニューヨーク特派員から戻って本社編集局の中核である産業部の次長を8年、産業部長を5年、度重なる海外出張を含め充実したジャーナリスト生活を送っていた私は森田社長から急遽社長室に呼び出され「菅谷君を初代米州編集総局長に任命する。グローバル時代の中、日経は新聞報道を強化しつつ、ロー

スや市場情報を24時間発信する必要がある。重大任務を任せるのは君しかない」と内示された。

森田社長は続けて「私や君が体験した特派員の名称もグローバル時代に対応、記者とする」と言った。私は「喜んでお受けしますが、特派員の名称は若い記者の励みになるので残して下さい」と言つと「菅谷君も頭を切り替えねば。日経が勝負する重大任務。責任地域も米国、カナダ、中・南米と広がるので君の頭脳と体力をフルに発揮して欲しい。具体的なことは君の一年先輩の市岡場一郎君を編集局次長兼国際総局長に窓口として任命するので、打ち合わせるように」と言つ。



住居のLE Triomphe E 28階から見たマンハッタンの摩天楼 1987年5月

ターやウォール・ストリート・ジャーナル紙を発行するタウ・ジョーンズのよな通信機能も確固たるものにして日経アレン、QUICKの端末にニユー

早速市岡さんに会いにいくと、「月給は6000ドル弱、あとは全て君に任せるよ。1971〜74年のニューヨーク特派員時代の1年目は1カ月の給与が出張費を除いて12000ドル。同年12月のスミニアン会議で1ドル13600円から30800円の円高になった後、在米特派員陣の粘り強い交渉で12500ドルになったものの生活は火の車。私は個人的に日本の市中銀行から1ドル3600円時代に1万ドルの借金をして赤貧生活から一歩抜け



マンハッタン6番街マグロウヒル本社内の米州編集総局長室で 1987年6月

給で赤貧特派員時代の4.8倍、ニューヨークの物価が実感で2倍なので単純計算で3倍弱の生活が可能になる。日本でバブル経済が始まり、日経の業績も森田社長による地方分散印刷の推進などで好調——などラッキーなタイミングの恩恵を受けたわけだ。

1987年3月2日、総局編集部長に選ばれた田尻嗣夫（元ロンドン特派員、のち東京国際大学学長）、編集部次長の関山豊成（元ニューヨーク特派員、のち日経専務取締役）両者と同じ航空機で懐かしいニューヨークに到着。セントラルパークを見下ろせるホテル・ESSEX・HOUSEに滞在した。翌朝からロックフェラーセンターに近いマグロウヒル本社内の総局に向き斎藤史郎（のち日本経済研究センター会長）、小孫茂（のちテレビ東京社長）ら記者9人や、ワシントンの田勢康弘支局長（のちテレビ東京キャスター）ら16人の記者を招集しての編集方針の説明、討議を進める一方、急いだのが住居の選定だった。

私の産業部長時代の部下で「ロビンピア大学留学生だった香原剛（のち常務執行役員）君とウォール・ストリート・ジャーナル外報部長秘書の福田嬢が探してくれた不動産会社の有能な女性と4人で月の家賃4000ドル弱のマンションを3件チェック。最初に見たのは

出したが、借金240万円をニューヨークに残した話②はコラムの②で書いた。

それが今月の6000ドルだと、セントラルパーク西側の見晴らしの良い30階の部屋だったが全ての窓ガラスが床まであり、客や家族が落ち着かないと判断して見送り。2番目は5番街56丁目、58階建てトランプタワーの低層階、これは4800ドルと高い上内装が金と黒で刺激が強すぎるのでやめた。

3番目に見た58丁目2ndストリート角の「LE Triomphe」（フランス語で勝利）28階の角部屋「E」は2ベッドルーム。リビング正面のファースト・ナショナル・シティ銀行の高層タワーでエンパイア・ステートビルは遮られているもの、クライスラービル、後に2001年の同時多発テロで倒壊したワールド・トレード・センター・ビルなどマンハッタンが一望出来、左手窓からはクイーンズポロブリッジが見下ろせる素晴らしい景観。価格は月4200ドルと予算を上回るが、特派員時代に前任者から引き継いだクイーンズの「キプリング」ハウスに比べ雲泥の差。家具、洗濯機や絵画購入などの初期コストはかかるが、予想される総局長の激務や家族、来客も考慮して決めた。

ほどなくして小孫記者が総局長室にやって来て「総局長の入居された部屋は映画「ランボー」シリーズなどでトップ男優になったシルベスター・スタローンが住んでいた部屋ですよ」と。そういうえば1階に卓球台などもある立派なジム、地下には25メートルプールがあり、スタローンが身体を鍛えるに適した施設が全て無料。私は多忙もあり2年間でプールに2回だけ、ジムは使えずじまい。ただ家内や娘3人はいずれも短期の滞在だったが、マンションでの生活や5番街などマンハッタン中心部の散策を楽しんでいた。

※次号は「世界を生きる」
「日経米州編集総局長時代②」です